

★北見工業大学は、「地域連携・社会貢献」「共同研究推進・研究支援」の機能強化を目的とし、学外の皆さまと様々な形で連携し、産学官連携活動を推進しています。

★社会連携推進センターは、大学が持つ「研究」機能を社会のために活用すべく、研究者のシーズと社会のニーズとのマッチングを図る窓口・コーディネート業務や、種々の社会貢献・地域貢献に関する業務の窓口として、北見工業大学の産学官連携活動を推進するセンターです。

## No.5

2021.7

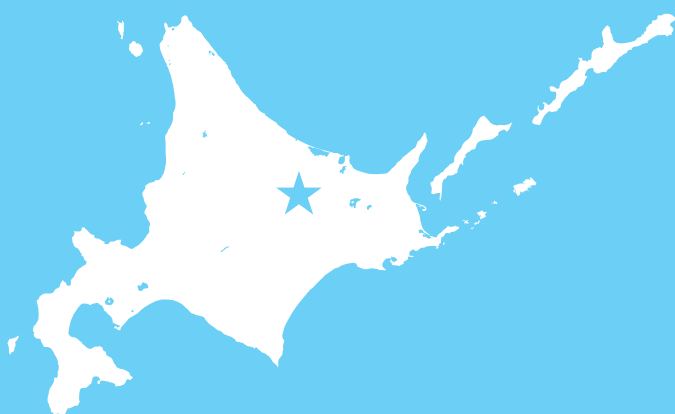
### ■ FOCUS

産学融合拠点創出事業  
「チャレンジフィールド北海道」

### ■ TOPIC

社会連携推進センター組織体制  
HACCP・食品安全管理プログラム  
セミナー開催

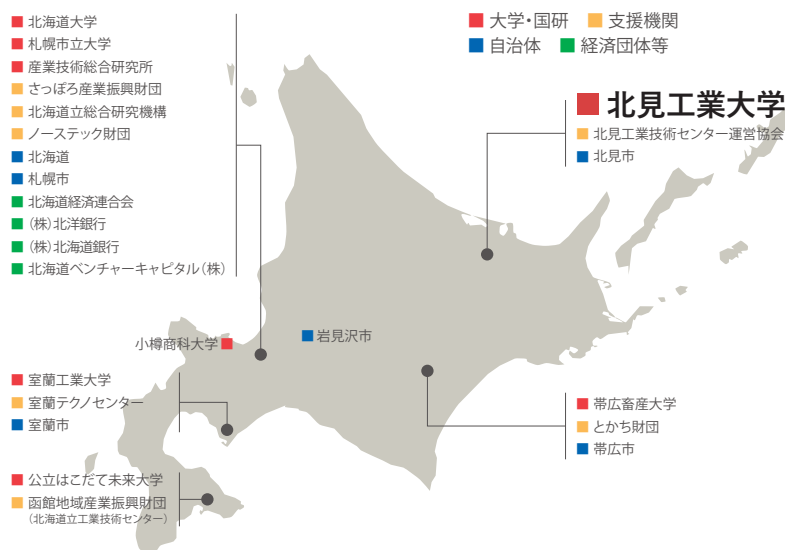
### ■ スタッフ活動



## 産学融合拠点創出事業「チャレンジフィールド北海道」

「チャレンジフィールド北海道」は、2020年度に経済産業省の「産学融合拠点創出事業」に採択されスタートした事業です。「産学融合拠点創出事業」とは、産業界を含むマルチステークホルダーと学術機関との連携・融合を通じた新たな価値の創造と大学を起点とするオープンイノベーションの拡大を目指し、産学融合の先導的取組とモデル拠点構築を行うものです。チャレンジフィールド北海道には、北見工業大学をはじめとし、道内8つの大学・国研を中心に、各地の自治体、公設試験研究機関、金融機関等の25機関が参画しています。北海道の豊かな食・エネルギー資源、冷涼な気候、リスク分散適地という特性を活かし、技術融合・資源循環によるイノベーションを創出し、社会課題の解決や事業機会の拡大により、豊かさを実感できる社会の構築にチャレンジしています。

「チャレンジフィールド北海道」参画機関



チャレンジフィールド北海道では、5つの重要課題（マテリアリティ）を設定し、それに基づく15の推進計画の取り組みを進めています。重要課題は、1)農林水産業やものづくり産業の生産性・競争力の向上、2)地域社会のスマート化・再生可能エネルギーの活用、3)環境との両立による持続的な食料供給、4)宇宙、農業、デジタルバイオなどの成長産業化・スタートアップの創出、5)健康で社会参加できる共生のまちづくり、の5つです。

そのうち、北見工業大学は1)農林水産業やものづくり産業の生産性・競争力の向上、と、3)環境との両立による持続的な食料供給、においてそれぞれのプロジェクトに参画しています。

## 北見工業大学が取り組んでいるプロジェクト

**重要課題(マテリアリティ)：農林水産業やものづくり産業の生産性・競争力の向上  
道産品のグローバルな競争力向上を目指す域外出荷強化計画**

北見工業大学

小樽商科大学

帯広畜産大学

北海道における豊富で良質な第1次産品は、アジア地域を中心にグローバルなブランド力があります。これら第1次産品の競争力向上、高付加価値化のさらなる発展に向け、物流の効率化や高品質での域外出荷を強化する仕組み構築を目指しています。



**重要課題(マテリアリティ)：環境との両立による持続的な食糧供給  
ビッグファーマーズと共創する植物油由来資源利用活性化**

帯広畜産大学

北見工業大学

小樽商科大学

未利用資源を安定供給する大規模農業者と連携し、未利用資源の活用や6次化を推進していく資源有効活用実証プラットフォームを構築を目指しています。健康に良いとされるω3油を含む荳胡麻や亜麻等の大規模栽培を実現しています。この植物油由来資源の有効活用に向けた実証研究を推進しています。



## 社会連携推進センター組織体制

社会連携推進センターの教員スタッフに変更がありました。2021年4月からあらたにセンター長として教授・藤井享（専門分野：技術経営戦略）、センター員として准教授・三枝昌弘（専門分野：知的財産）が着任しました。社会連携推進センターの教員スタッフはそれぞれに異なる強みを活かし、北見工業大学の社会貢献水準の向上に向けさらに活動を強化していきます。



2021年4月着任  
社会連携推進センター長  
教授 藤井 享（ふじい とおる）

2020年1月に東京から北見にきました。北見市が位置する北海道オホーツク地域の衣・食・住のすばらしさを日々実感しています。地域の魅力・特色を最大限活かした北見工業大学の社会貢献活動に精力的に取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



2021年4月着任  
准教授 三枝 昌弘（さえぐさ あつひろ）

母校である北見工業大学の社会貢献・地域貢献活動の活性化に向けて、地域との産学官連携活動に注力していきます。地域の課題解決に向けて地域に向き地域の皆様とともに取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

## 社会連携推進センタースタッフ

センター長・教授	藤井 享
センター員・教授	内島 典子
センター員・准教授	三枝 昌弘
研究協力課・課長	柴田 俊成
研究協力課・副課長	松沼 拓夫
研究協力課 地域連携担当・係長	山本 至
研究協力課 産学連携担当・事務職員	泊 晋
研究協力課 事務補佐員	木村 朋恵

（2021年4月現在）

## HACCP・食品安全管理プログラムセミナー開催

北見工業大学は、帯広畜産大学、小樽商科大学とともにそれぞれの大学が得意とする「工学」「農学」「商学」3つの分野を融合させて、北海道が抱える経済・産業の課題に取り組む人材を育成する教育システムの構築を目指しています。その一環として、2月19日から3月5日の期間に3回にわたって、「HACCP・食品安全管理プログラムセミナー」を開催しました。このセミナーは、食品製造・加工に関わる方、これから食品製造・加工事業に取り組む方、HACCPに興味関心のある方など、食品安全管理に関心のある一般・社会人、学生を対象にオンラインで開催されました。食の安全を守るHACCPの基礎や食品製造現場でのISOの導入事例、企業の社会的責任としての食の安全や地域社会への取り組み、事業継続マネジメントの最新動向を紹介しました。北見工業大学からは、地球環境工学科/地域未来デザイン工学科地域マネジメント工学コースの教授・藤井享が講師を務めました。食の安心・安全に向けたフードマネジメントをテクノロジー（ITソリューション・IoTデジタル技術の活用も含めた）視点から解説しました。

主催：帯広畜産大学・小樽商科大学・北見工業大学

## HACCP・食品安全管理プログラム

2020年度  
三大学経営統合関連事業

受講費：無料  
受講方法：ZOOM  
HACCPや食品安全管理に興味のある方など  
なたでも参加可能  
※後日オンデマンド配信予定

※食の安全に対する関心の高まりと食品製造現場の国際標準化の動きから、2021年5月までに全ての食品製造事業者がHACCPに当たる実証実験の開始が求められます。本セミナーでは、食品製造・加工に関わる方を対象に、食の安全を守るHACCPの基礎や食品製造現場でのISOの導入事例、企業の社会的責任としての食の安全や地域社会への取り組み、事業継続マネジメントの最新動向の紹介をします。

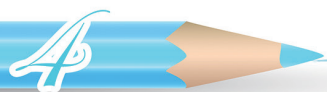
**第1回 HACCPの基礎**  
2/19（金） 18:30～20:00  
講師 森岡 昌子 特任助教（帯広畜産大学）  
窪田 さと子 助教（帯広畜産大学）

**第2回 北の大地とともに  
～北海道コカ・コーラグループのCSR活動～**  
2/24（水） 18:30～20:00  
講師 藤原 健祐 准教授（小樽商科大学）  
井馬 智行 氏（北海道コカ・コーラボトリング株式会社）

**第3回 食品安全衛生管理と事業継続マネジメント  
の最新技術動向**  
3/5（金） 18:30～20:00  
講師 藤井 享 教授（北見工業大学）  
山本 壽夫 教授（日本大学）

申込み・問い合わせ先：  
申込みは各記QRコードまたはURLにアクセス  
URL: <https://forms.gle/aU7Zx8TtGcDjkmv6>  
国立大学法人帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター内  
リカレント教育部門（帯広畜産大学） 穂倉・平 宛  
TEL:0155-49-5661 / E-mail: u3rec@obihro.ac.jp





# スタッフ活動 (2021.4. ~ 2021.6.)

## 北見工業大学の社会貢献推進に向けた産学官連携活動

主たる活動		スタッフ	日程
[ 北見市 ] オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議	藤井	4月5日
[ 3大学 ] <sup>1)</sup> オープンイノベーションセンター研究データ統合・活用検討チーム会議*	会議	三枝	4月23日
[ 3大学 ] <sup>1)</sup> オープンイノベーションセンター管理運営検討チーム会議*	会議	藤井・三枝	4月27日
[ 3大学 ] <sup>1)</sup> オープンイノベーションセンター産学官共同研究検討チーム会議*	会議	三枝	4月27日
[ 3大学 ] <sup>1)</sup> オープンイノベーションセンタービジネス戦略検討チーム会議*	会議	三枝	4月27日
[ 北見市 ] 北見地域企業立地促進協議会総会*	会議	藤井	5月7日
[ 北見市 ] オホーツク産学官融合センター事務局会議*	会議	藤井	5月10日
[ 北見市 ] 北見工業大学社会連携推進センター推進協議会 令和3年度総会*	会議	藤井・内島 三枝	5月10日
[ 3大学 ] <sup>1)</sup> 令和3年度第1回オープンイノベーションWG*	会議	藤井・内島 三枝	5月14日
[ その他 ] <sup>2)</sup> チャレンジフィールド北海道第1回参画機関会議*	会議	藤井・三枝	5月20日
[ その他 ] <sup>2)</sup> チャレンジフィールド北海道第1回グロースチーム会議*	会議	藤井・三枝	5月20日
[ 国 ] <sup>3)</sup> 令和3年度JST産学官連携ジャーナル発行推進委員会*	会議	内島	5月21日
[ 北見市 ] 北見市産学官連携推進協議会 令和3年度総会*	会議	藤井・内島 三枝	6月1日
[ 北見市 ] 北見市中小企業振興審議会*	会議	藤井	6月7日
[ 北見市 ] オホーツク産学官融合センター事務局会議*	会議	藤井	6月7日
[ その他 ] <sup>2)</sup> チャレンジフィールド北海道第2回戦略推進会議*	会議	藤井・三枝	6月9日
[ その他 ] <sup>2)</sup> チャレンジフィールド北海道地域活性化プロジェクト意見交換会*	会議	三枝	6月10日
[ 他大学 ] <sup>4)</sup> 第2回帯広畜産大学産学官金連携交流会mini~未利用農林水産資源編~*	イベント	三枝	6月10日
[ 3大学 ] <sup>1)</sup> オープンイノベーションセンター管理運営検討チーム会議*	会議	藤井・三枝	6月24日

[ ]内は主な主催機関

\*新型コロナウイルス感染防止のため、Web開催もしくは書面審議

1)小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学

2)公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）

3)国立研究開発法人科学技術振興機構 4)帯広畜産大学



〒090-0013 北海道北見市柏陽町603番地2  
TEL 0157-26-4161 FAX 0157-26-4171

### 北見工業大学社会連携推進センター（CRC, Center for Regional Community）

CRCが大切にしているのは、社会・地域の皆さんとともに生き・歩みながら社会に貢献している大学の姿です。その想いを目に見える言葉、形や色にしました。キーワードは、様々に繋がっていく「With、ともに」です。CRCのマークは、「社会連携推進センター」の、「Center for Regional Community」の頭文字です。オホーツクの「大地」と「木々」と「空・水」、手を繋ぐ「官」と「産」と「学」を表す茶・緑・青の文字、C・R・Cからなっています。Rの窓にある星は、大学のマークにも入っている北斗、北天に光を放つ北見工業大学です。

<http://www.crc.kitami-it.ac.jp/>  
 [chiiki@desk.kitami-it.ac.jp](mailto:chiiki@desk.kitami-it.ac.jp)

